
KENKYUSHA
COLLEGE
LIGHTHOUSE
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

カレッジライトハウス英和辞典

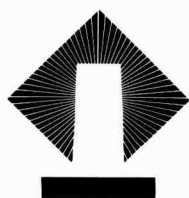
編者 竹林 滋・小島義郎・東 信行

研究社

KENKYUSHA
**COLLEGE
LIGHTHOUSE**
ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

カレッジ
ライトハウス英和辞典

編者 竹林 滋・小島義郎・東 信行
江蘇工業学院图书馆
藏书章



研 究 社

KENKYUSHA
**COLLEGE
LIGHTHOUSE**
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

初版 第1刷 1996年1月



カレッジ ライトハウス英和辞典(机上版)

編 者	たけばやし しげる こ じま よし ろう ひがし のぶゆき 竹林 滋・小島義郎・東 信行
発 行 者	池上勝之
発 行 所	株式会社 研 究 社 〒102 東京都千代田区富士見2-11-3 電話 編集 03(3288)7711 販売 03(3288)7777 振替 00190-3-32260
組 版	研究社印刷株式会社
写真製版	株式会社 近藤写真製版所
印 刷	研究社印刷株式会社
製 本	株式会社 ケイ・ビー・ビー (研究社製本)

ISBN4-7674-1516-0 C0582

PRINTED IN JAPAN

まえがき

『ライトハウス英和辞典』は前身の『ユニオン英和辞典』以来 20 年以上も愛用され続けた。幸い高い評価を受け、ベストセラーの地位を確保してきたが、その結果利用者層が我々の予想した以上に広がり、実に多種多様な意見が編集部に寄せられた。そのなかでも最も我々を悩ませたものは、もっと内容を基礎的なものに絞ってもらいたいというものと、逆にもっと規模を大きくして上級の学習者にも利用できるようにしてもらいたいという、相反する要望であった。この結果、編者および編集部としては、もはや一種類の『ライトハウス英和辞典』だけでは無理で、内容をより基礎的なものに圧縮したものと、逆により拡充したものと二種類を新たに作成する必要がある、との結論に達した。昨年刊行された『グリーンライトハウス英和辞典』は前者であり、本辞典すなわち『カレッジライトハウス英和辞典』は後者である。従って本辞典の対象は高校生・大学生のみならず、かなりの英語力をもつ社会人にも充分役立つものとなったと信じる。『カレッジライトハウス英和辞典』の編集に当たり、我々が特に配慮した点および新たに加わった特色は次の通りである。

(1) 『ライトハウス英和辞典』の伝統の継承

『ライトハウス英和辞典』は『ユニオン英和辞典』以来見やすい、引きやすいということでは定評がある。また当初より一貫して基本語を重視し、このために他辞典には見られない懇切丁寧な解説、用例、語法上の説明を行っている。これらが『ライトハウス英和辞典』がベストセラーとなった理由だと思われるが、上級の本辞典においてもこの方針は堅持した。また「見やすく、引きやすい」という『ライトハウス英和辞典』本来の特色を保つことにも慎重な配慮が加えられた。従って本辞典は「見やすく、引きやすく、基本語の解説が極めて詳しい上級の学習辞典」という理想的な性格を持った英和辞典と信じる。

(2) 収録語の飛躍的な増加

これは上述の『ライトハウス英和辞典』の拡充という利用者の要望に直接応えたものである。英米の最新の辞書を調査し、かつ最近の世界情勢・社会事情などを考慮に入れて約 2 万語を厳選の上追加した。これによって本辞典の収録語数は約 8 万語に上った。追加語の選定に当たっては百科事典的な要素も加味し、必要と思われる人名・地名も相当数加えた。これにより現代の標準的な英文を読む上での十分な語彙が確保されている。その反面もはや不要と思われる語句は削除し、その分のスペースを追加語、追加語義に充てた。

(3) 語法欄の充実

『ライトハウス英和辞典』第二版では米国と英国の著名な学者に例文や語法などの校閲をお願いしたが、このうち Bolinger 博士は 1992 年に他界された。博士の生前のご遺志で後任として米語の語法についての権威であられるジョージア大学名誉教授の John Algeo 博士に編集顧問となっていただくことになった。Algeo 博士は精力的に我々の質問に回答を寄せられたことにより語法欄はいっそう充実した。なお、同博士の解説ないしは意向が反映された箇所は本辞典においても (Alg.) のように表示した。

(4) 『ライトハウス英和辞典』の特色の継承と発展

20 項目に上る『ライトハウス英和辞典』の特色は全てそのまま継承した。これらは我々が 20 年以上に亘って教育現場の利用者の貴重な意見などを取り入れて築き上げた財産で、一つとして削れるものはない。特に文型表示・句動詞はいっそうの充実をはかり、また新たに名詞にあっては名詞型の文型表示を加え、動詞や形容詞の重要語義に **D** (動作性)、**S** (状態性) の区別を示した。その上、さらに以下のような新しい特色を追加した。

(5) コミュニケーションの重視

新学習指導要領においてコミュニケーションが重視されたのを機に、特に最近の語用論・談話分析・テキスト言語学などの研究成果を吸収して「会話の受け応え」や「文のつながり」などに重点をおいた会話の用例を増加し、「つなぎ語」の指定をした他、随所に会話の囲み欄を設けて利用者の注意を喚起するように配慮した。

(6) コロケーション欄の新設

日常的によく使用されている語の連続、つまりコロケーションにスポットをあて、重要な語については随所にコロケーション欄の囲みを設けた。これを習得することによって英語の理解力だけでなく、表現力も身につくことに注目されたい。コロケーションについては特に編集顧問の R. F. Ilson 博士に綿密に検討していただいた。

(7) 動作・運動・状態などを示す挿絵の採用

挿絵を全面的に見直し、『グリーンライトハウス英和辞典』で採用して好評を博した動作・運動・状態などを示す挿絵を収録した。これは『ライトハウス英和辞典』の大きな特色であるジェスチャーの挿絵と相俟って、動詞などの基本的な意味の理解の大きな助けとなるものと確信する。

今回の編集作業に当たっては別掲の編集委員、校閲者、執筆者、調査・校正協力者の方々のご協力を頂いた。特に編集委員の八幡氏は Ilson, Algeo 両博士との連絡に尽力された。深く感謝の意を表する次第である。また研究社辞書編集部では企画・進行面で小沼利英編集部次長、また直接の担当者として改田宏氏、三谷裕氏、濱倉直子氏、さらに最後の段階で岡田穰介編集部部長、松原悟氏にも非常にお世話になった。今回も研究社印刷の小酒井英一郎氏をはじめ製版や製作関係の方々には大変なご無理を願ったが、これらの方々にも心からお礼を申し上げたい。

この辞書の作成に当っては最善を尽くしたつもりであるが、今後とも理想の学習辞典を目指してさらに努力を重ねてゆく所存である。各位からのご教示を賜わるよう切に願います。

1995 年 9 月
編 者

解説図

1 見出し語

1.1 中学用基本語

but

/(弱形) bət; (強形) bʌt/ (but; BŪT)

2 発音
2.3 文中で比較的弱く発音される語
2.1 1 音節語のアクセント

5.1 語義の要約

基本語には「それとは反対に」の意。

- ① しかし
- ② ...を除いて
- ③ ほんの、ただ...だけ

接 1
前
副 1

2.10 フォニックス記号

1.7-1.10 つづり字の切れ目

— 接 1 《等位接続詞》 **しかし、だが、...**

2.7 省略できる音

***Eu·ro·pe·an** /jʊərəˈpeɪən/ (= uroPEan) 形

5 語義

1.6 つづりが同じで発音や語源が異なる語

「比較なし」ヨーロッパの、欧州の、...
dis·card¹ /dɪskɑːd | -kɑːd/ 動 他 1 <不用のもの>を捨てる、処分する; <衣服>を脱ぎ捨てる; <人>を見捨てる; <信念など>を放棄する。 2 【トラ】<札>を捨てる。 — ④ 【トラ】札を捨てる。

2.11 アクセントの移動

3 品詞

3.1, 3.3 自動詞と他動詞の区別

1.1 高校用基本語

dis·card² /dɪskɑːd | -kaːd/ 図 1 ① 捨て(られ)ること、放棄。 2 ② 捨てられたもの[人]。 3 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡

***fel-low** /félou/ (FÉllōw) 名 (～s /～z/) 1 [C] 《や
や古風, 略式》男, 人, やつ (man). [語法] 親愛や
軽べつなどの感情がこめられることが多い (Bol.) (Ils.)

8.4 語法

boom¹ /bú:m/ 名 1 [C] にわか景気, ... boom
建築ブーム. 2 [C] ブーム, 急激な人気, (人口などの)
急激な増加. [日英比較] 「一時的流行」の意味では
boom よりも fad, vogue や ... is very popular の
ほうが普通. (Ils.) (Alg.)

8.6 日英比較

***add** /æd/ (ADD) 動 (adds /ædz/; add-ed
/ædɪd/; add-ing /ædɪŋ/) 他

1 [D] (あとから) <...> を **加える**, 付け足す ...
し加えなさい / **Add** these figures **together**. <V
+ O + together> この数字の合計を出しなさい ...
(名 addition) (同音 ad)

9 動詞型

12 派生語

12.1 派生語のアクセント

add の動詞

add in 動 他 <...> を算入する; 入れる.

add on 動 他 <...> を付け加える.

***add to ...** 動 他 [S] ... を増す (increase) (受身
be added to): This **adds to** my troubles. これで
私の悩みが増える.

11.5 受身の表示

***add up** 動 他 [D] <...> を合計する <V + 名・代 +
up / V + up + 名>: **Add up** these figures. これ
らの数字を合計しなさい. — ① 計算する, 計算
が合う; (量・価値などが) 増す. 2 [進行形なし] (略
式) (話などが) つじつまが合う.

11.4 句動詞の動詞型

11 句動詞

***add up to ...** 動 他 [進行形なし] 1 [S] 合計
... となる: The figures **add up to** 230. この数字は
合計 230 となる.

2 [S] (略式) つまりは ... となる, ... を意味する: It'll
add up to the same thing. 結局は同じことだろう.

***con-fi-dence** /kánfədns | kón-/ (CŌN-
fidēnce) 名 (-fi·denc·es /-ɪz/) 1 [U] 自信 ...
confidence. 自信をもって行動しなさい / I have
every **confidence that** he will succeed. <N
+ that 節> 私は彼ならきっと成功するだろうと思う.

8 用例

8.2 注意すべき用例

9.6 名詞型

***dec-ade** /dékeɪd, dekéɪd/ (DĒcāde) 名 (dec-
ades /dékeɪdz, dekéɪdz/ [C] 10 年間 ...

関 連 語

century	世紀	day	日
decade	10 年間	hour	時
year	年	minute	分
month	月	second	秒
week	週		

16.3 関連語

brānch òf fice 名 [C] 支点, 支局. [関連語]
head office 本店, 本局.

***con-fuse** /kən·fjú:z/ (conFŪSE) 動 (con·fus-
es /-ɪz/; con·fused /-d/; con·fus-ing) 他 1
[S, D] <...> を困惑させる, まごつかせる ...

14 語源・単語の記憶

単語の記憶 《FUSE》(注ぐ)

confuse (いっしょに注ぎ込む) → 困惑させる

diffuse (あちこちに注ぐ) → 拡散させる

fuse (注げるようにする) → 溶かす; ヒューズ

refuse ((注ぎ)返す) → 断わる

***brake**¹ /bréik/ (BRĀKE) 名 (～s /～s/) [C] プレー
キ 《 bicycle 挿絵》; プレーキペダル ...

16 ... のいろいろ

brake のいろいろ

áir brake エアブレーキ, emergency brake 非常ブレーキ,
hánd brake サイドブレーキ

この辞書の使い方

1 見出し語

1.1 収録語数 約 78,000 語とした。このうち中学用基本語約 1,000 語に * 印, 高校用基本語約 1,000 語に * 印をつけて大活字で示して目立たせた。さらにそれに続く基本語約 2,000 語に * 印, 次の 3,000 語に * 印をつけた。

1.2 収録範囲 英語の普通の語句・派生語・合成語のほかに, 固有名詞・接頭辞・接尾辞・短縮形・略語を収録した。

1.3 配列 配列は ABC 順とした。ハイフン (-) を用いて見出し語のつづりの一部を, スワングダッシュ (~) を用いて見出し語と同じつづりの部分を省略して示した場合がある。

*help-ful ... 形 ... -ful-ly ... 副 ... ~-ness 名 固

1.4 つづり字 米国と英国とでつづりの異なるときは米国式つづりを優先させ, (英) として英国式つづりを併記した。

la·bor·er, (英) la·bour·er

一方の語を改めて見出し語としたときには次のように示した。

la·bour·er /léɪb(ə)rə | -rə/ 固 (英) = laborer.

1.5 2 種以上のつづり方があるときにはよく使われるつづりを先に併記した。またつづりが共通する部分は共通する 1 音節だけを残してハイフン (-) で省略した。[], () はそれぞれ言い換え, 省略可能な部分を示す。

quar·tet, quar·tette / *gas·o·line, -o·lene /
né·on light [làmp] / dó·r·mer (wín·dow)

1.6 つづりが同じでも語源の異なるもの, 品詞によって発音が異なるものは別に見出し語として立て, 肩番号をつけた。

*bow¹ /báu/ ★ bow² との発音の違いに注意。固 (bows /~z/; bowed /~d/; bow·ing) 固 1
固 おじぎをする...

*bow² /bóu/ ★ bow^{1,3} との発音の違いに注意。固 (~s /~z/) 1 固 弓...

1.7 つづり字の切れ目 つづり字の切れ目は中点 (·) で示した。

*mon·u·ment

1.8 語頭・語末の 1 字または 2 字は, 行の終わりなどでは切らないほうが望ましいので小さな中点 (·) で示した (☞ syllabication)。ただし un-, -ly などの接辞には大きな点で区切ったものもある。

*a·ble² / *cher·ry / tu·lip // Al·ex·an·der

1.9 合成語は各構成要素(時に接辞も含む)の切れ目以外はすべて小さい中点 (·) で示した。

trou·ble·mak·er / rock·climb·ing / fill·ing sta·tion / *fa·vor·a·ble

1.10 合成語でも構成要素の一方が初出のときは 1.8 に従った。

Á·dri·at·ic Séa /éidriàtik-/ 固 固 [the ~] アドリア海...

2 発音 (☞ 発音解説 (p. 2136)), フォニックス, 外来語

2.1 発音は最新の資料により国際音声字母を用いて見出し語の直後に / / の中に入れて示した。米音と英音とが異なるときは /米音 | 英音/ のように示した (☞ 発音解説 1)。2 種以上の発音のしかたがある場合は, 共通する部分はハイフン (-) で示した。1 音節語でもアクセントを示した (☞ 発音解説 13)。発音記号 /ə:, ɪə, eə, aə, ɔə, uə, ə/ については ☞ 発音解説 5.7, 6.7-11, 8.4。

*half /háɪf | há:f/ / *al·ways /s:lweɪz, -wəz, -wɪz/

2.2 母音字の上に / ' / をつけて第一アクセントを示し, / ` / をつけて第二アクセントを示した (☞ 発音解説 13)。

*cir·cum·stance /sə:kəmstæns, -stəns | sá:-/

- 2.3 文中で比較的弱く発音する語は次のように示した(《☞ 発音解説 15, 16》).

***at** /kət/ (弱形) ət; (強形) ɛt/

- 2.4 基本語の変化形には原則としてすべて発音を示したが、動詞の現在分詞(ただし《☞ 4.11》)および形容詞・副詞の規則変化は発音表記上特に問題がない限り省略した。

- 2.5 不規則な変化形には発音を示した(《☞ 4.3, 4.7, 4.10》).

- 2.6 変化形の発音は、見出し語の発音と同じ部分をスワングダッシュ (~) で示し、一部が変わるときは同じ部分をハイフン (-) を用いて省略した(《☞ 4》).

- 2.7 省略できる音を示す記号を () の中に入れて示した。

***hand-bag** /hænd(b)æg/

- 2.8 2語以上から成る見出し語については、それぞれが、独立して見出しにあれば発音は示さず、見出し語にアクセント記号だけを示した。

fóam rúb-ber 図 ㊦ 気泡ゴム, フォームラバー。

- 2.9 独立して見出し語にない語やまぎらわしいときは一部を示した。

córned béef /kɔ̀nd- | kɔ̀nd-/ 図 ㊦ コ(-)ンビーフ。

léad pén-cil /léd-/ 図 ㊦ 鉛筆。

- 2.10 星印 * 以上の 4,000 語にはフォニックス記号を入れ、英語のつづり字と発音の関係をある程度規則的に把握できるようにした。発音記号の後に () で示されているのがそれである(《☞ つづり字と発音 (p. 2145)》).

***quick-ly** /kwíkli/ (QUÍCKlɪ)

- 2.11 アクセントの移動(《☞ 発音解説 14》)が起こることがあるものについては発音記号の後に ^ を用いて示した。

***Ja-pa-nese** /dʒəpəniːz^/ ... **full-grown** /fúlgrúun^/ ...

- 2.12 付属教材である「ライトハウス英語発音の基礎」のカセットテープ(別売)に吹き込まれている例文には **カセット** と表示した。

- 2.13 英語に入った外来語のうち外来語としての意識のあるものを中心に、それが由来する原語名を発音表記の直後に示した。

ad va-lor-em /ædvəlɔ́r:əm/ 《ラテン語から》 形 圖 価格に応じた[応じて] (《略 ad val.》).

hi-ba-chi /hibá:tʃi/ 《日本語から》 図 ㊦ ヒバチ 《炭火を使う鉄製のバーベキュー用こんろ》.

3 品 詞

- 3.1 品詞名は次のように略号を用いて示した(《☞ 19》).

図 = 名詞, 代 = 代名詞, 形 = 形容詞, 副 = 副詞, 助 = 助動詞, 動 = 動詞,

前 = 前置詞, 接 = 接続詞, 感 = 感嘆詞, 接頭 = 接頭辞, 接尾 = 接尾辞, 略 = 略語

- また下位分類は ㊦ = 自動詞, ㊧ = 他動詞, ㊨ = 固有名詞, [複] = 複数名詞 のように示した。

副詞(語句)については文中や文と文の間での役割を明示するために **文修飾語** と **つなぎ語** の表示を加えると共に、重要なものについては用法を詳しく説明した(《☞ 巻末文法 文修飾語, つなぎ語》).

con-verse-ly /kənvrɔ́:slɪ | -vrɔ́:s-/ 副 逆に; **つなぎ語** [前言を受けて] (また)それとは逆に(先に述べたのは逆の状況を述べるときに用いる).

- 3.2 ある見出し語の中に 2 つ以上の品詞があるときには — で示した。

He-brew /hí:bru:/ 図 1 ㊦ (古代の)ヘブライ人, ヘブル人. ... — ㊦ ヘブライ人の; ヘブライ語の。

ただし発音が異なるときは別に見出し語とした(《☞ 1.6》).

- 3.3 自動詞, 他動詞の別を示すときは — を用いた。

a-brade /əbréid/ 副 ㊧ ㊨ <...> をすりむく, すり減らす. — ㊦ (皮膚が)すりむける。

4 語形変化

- 4.1 名詞・代名詞・形容詞・副詞・動詞・助動詞の語形変化を示した。不規則な変化をするものは、略号(複・比・最・三単現・過去・過分・現分)とともに () 内に示したが、規則的な変化をするものは略号を省いた。基本語は規則的な変化をするものについてもすべて示したが、見出し語と共通な最後の音節のつづりを残して略記した。一般語につ

いては不規則な変化をするもののみ示した。見出し語と同じつづりの部分はスワングダッシュ(～)で示した。

2 種以上の変化形はよく使われるほうを先に併記したが、使われ方に差がないものは()でまとめて示した場合がある。下の例では cargos と cargoes が両方とも同じように用いられることを示す。

***car·go** /káəgou | ká:-/ ㊦(～(e)s /～z/)

***at·ten·dance** /əténdəns/ ㊦(-ten·danc-es /～ɪz/)

4.2 名詞 基本語は複数形が用いられるものはすべて示した。

***in·cli·na·tion** /ínklənéljən/ ㊦(～s /～z/)

4.3 不規則変化をする複数形はすべて略号とともに示した。

***man** /mæn/ (MĀN) ㊦(複 men /mén/)

***sheep** /ʃi:p/ (SHEEP) ㊦(複 ～)

4.4 2 語以上の見出しまたはハイフン(-)のついた合成語でも複数形になると第1 要素が変わるときには次のように示した。

prince cón·sort ㊦(複 princ-es con·sort)

look·er·on /lúkəán, -ó:n | -kəró:n/ ㊦(複 look·ers-)

4.5 つづり字が -o, -f, 子音字+y で終わる語はすべて複数形を示した。

4.6 形容詞・副詞 -er, -est をつけて比較級・最上級をつくるものはすべて示したが略号は省いた。

***keen**¹ /kí:n/ ㊦(keen·er; keen·est)

4.7 不規則な比較変化は略号とともに省略せずに示した。

***good** /gúd/ (GŌOD) ㊦(比 bet·ter /bé:tə | -tə/; 最 best /bést/)

4.8 単音節で more, most をつけて変化するものは示した。

***like**² ... ㊦(more ～; most ～)

4.9 動詞 基本語は三単現・過去・過分・現分の順にすべて示したが規則変化については略号を省いた。

4.10 不規則動詞は略号とともにすべて示した(『不規則動詞活用表』(巻末))。

***go**¹ /góu/ ㊦(goes /～z/; 過去 went /wént/; 過分 gone /gó:n, gán | gón/; go·ing)

4.11 規則変化でも子音字を重ねるもの、子音字+y または o で終わる語、-c で終わる語は基本語・一般語を問わず、すべて示した。

***pic·nic** /píkni:k/ ... — ㊦(pic·nics /～s/; pic·nicked /～t/; pic·nick·ing)

また原形が米音で /ə:/ または /ə/ で終わる動詞には現在分詞の発音も示した。

blare /bléə | bléə/ ㊦(blar·ing /blé(ə)rɪŋ/)

ca·per¹ /kéɪpə | -pə/ ㊦(-per·ing /-p(ə)rɪŋ/)

5 語義の展開と要約, 日英語義比較, 語義, 語法・文法上の指示, [A] [P], [C] [U], [D] [S]

5.1 重要語の語義の前に語義の展開と要約を示す囲みを設けた。語義の展開は意味の発達と分化を図式的に示したもので、要約は語義を簡潔にまとめたもの(『14.1』)。

5.2 重要な語で、日本語と英語の対応が誤解を招きやすく、注意を必要とするものについては、表の形で語義を示した。

draw (鉛筆・ペン・クレヨンなどで)	(絵を)描く
paint (絵の具で)	

5.3 語義の区分は **1**, **2**, ..., さらに細かく分けるときはセミコロン(;), コンマ(,) を使い、また大きな区分には **A**, **B** を用いた。また成句の語義区分は (1), (2)... を用いた。

5.4 *印の語 (1,000 語) と *印の語 (1,000 語) については、重要な語義が目立つように大きい活字で示した。

5.5 語法上および文法上の指示・注意は訳語の前に [] で示した。スワングダッシュ(～)は見出し語と同じつづりの部分を表わし、ダッシュ(—)は見出し語が一部変わると

きの変わらない部分を表わす。

blare ... ㊦ [a ~, the ~] やかましい音。

gos-pel /gásp(ə)l | gós-/ ㊦ 1 [the G—] (キリストの説いた)福音, ...

5.6 一部の言い換えは [] を用いて示し、省略には () を使用した (㊦ 19.2)。

ad-mon-ish ... <人>を(穏やかに)諭(㊦)す, 戒める, <...>に注意する; <...>に警告(㊦)する。

5.7 ㊦ ㊦ 形容詞の [限定的に] を ㊦, [述語的に] を ㊦ で示した (㊦ 卷末文法 限定用法, 述語用法)。

5.8 ㊦ ㊦ 数えられる名詞を ㊦, 数えられない名詞を ㊦ で、さらに両方に用いられる名詞は ㊦, ㊦ または ㊦, ㊦ で示した (㊦ 卷末文法 可算名詞, 不可算名詞)。

5.9 動詞の重要な語義において動作動詞を ㊦, 状態動詞を ㊦ で、さらに両方に用いられる場合は ㊦, ㊦ または ㊦, ㊦ で示した (㊦ 卷末文法 動作動詞, 状態動詞)。形容詞と名詞は性質・状態・存在物などを示すのが普通だが、be 動詞と共に述語的に用いられると動作動詞と同じく動作性を帯びるものが一部ある。その場合を [ときに ㊦] と表示した。

5.10 動詞が他動詞の場合、目的語をとる必要があることを訳語においても明示するためにしばしば次の形式を用いた。

(1) 直接目的語では「<...>を」「<...>に」のように目的語(相当部分)をくくの中に、入、助詞(相当部分)をくくの外に添えた小さい活字で示した。

(2) 直接目的語のほかに関接目的語がある場合は、「<...>に」のように間接目的語の助詞(相当部分)をくくでくくって示した。

***bake** ... ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ <パン・菓子などを焼く, <人に>×パン・菓子>を焼いてやる... *Bake a cake for me.*
<V+O+for+名・代>=*Bake me a cake.* <V+O+O> 私にケーキを焼いてください。

動詞で始まる成句・句動詞においても、その動詞の目的語について上記の表示法を適用した。その際前置詞の目的語を「(人)に」のように示した場合がある。

***break ... of** ~ ㊦ ㊦ ㊦ <...>に(癖など)をやめさせる: *She tried to break her child of the habit of lying.* 彼女は子供のうそをつく癖を直そうとした。

give ... a black eye [動] ㊦ <...>の目の周りに青あざができるほど殴る。

5.11 [次の成句で] として訳語を示さない場合がある。

fro /fróu/ ㊦ [次の成句で] **tó and fró** [副] あちらこちらへ, ...

5.12 動詞型など (㊦ 9) に準ずるものとして、見出し語と共によく用いられる前置詞・副詞をイタリック体で語義の後に示した。下の例では *conglomeration of ...* (...の塊) という形でよく用いられることを意味している。

con-glom-er-a-tion /kəŋgləmərə́ɪʃən | -glòm-/ ㊦ ㊦ [格式] (物の)塊, 集塊 (of); ㊦ 塊状の集積。

6 文体・用法上の指示

語・成句(の意味)が地域、時代、文体、専門分野などに関して限定されることがある。主な用法上の指示は () , [] , [] で示す。「普通は」「しばしば」「ときに」「主に」などを指示レーベルに付加して指示の適用が部分的であることを示すことがある。指示のないものは普通に用いられる一般の語句である。

6.1 地域によって用法・意味などが異なるときは、(米), (英), (主に米), (主に英), (方言) などのように、その用法上の指示を () で示した (㊦ 専門語表示一覧, 13.2)。同義語・反意語など (㊦ 7.1) では「主に」などを省き簡略化したり省略してある。

crib /kríb/ ㊦ ㊦ ㊦ (米) ベビーベッド ((英) cot)。

6.2 どういう場面・文脈で使うかという文体上の差異は次のように示した。

㊦ [格式] ... くだけた感じの語・句で、特に友人・家族のような親しい人同士の会話や手紙に使う。

㊦ [格式] ... 格式ばった語・句で、公式の改まった場面でのスピーチや公文書・商業文などに用いる。

㊦ [丁寧] ... 相手に対する敬意を表わした丁寧な語・句。

㊦ [俗] ... (㊦ [格式]) よりもさらにくだけた品位に欠ける語・句で、普通限られた仲間うちで用いたり、特殊な効果を狙って使う。

- 《卑》 ...卑猥(ひい)な、または差別的な品のない語・句で、人前で使ってはいけないとされる。
- 《古風》 ...今ではあまり使われない古風な感じの語・句で、年配の人の言葉に見られることがある。
- 《古語》 ...昔使われたが今は用いられない語・句で古い文献などに見られる。
- 《文》 ...硬い文学作品や改まった文書に用いられそうな語・句。
- 《詩》 ...主に詩や美文調の書き言葉の中で用いられる語。
- 《小児》 ...主に幼児や子供が使う語・句。

このほかに標準語とみなされない語句は《非標準》、使用頻度がかなり限られるものは《まれ》と表示した。

6.3 分野別の専門語は『 』, 説明は『 』で示した《 》専門語表示一覧》。なお商品などの商標名は説明中に「商標」と記した。

tee /ti:/ 図 ㉔ 1 《ゴルフ》ティー、球座《打つときにボールをのせる台; ㉔ golf 挿絵》...

A·qua-Lung /á:kwəlɒŋ | æk-/ 図 ㉔ アクアラング《潜水用の水中呼吸器; 商標》。

6.4 どのような態度や感情的含みでその語句を用いるかを示す必要があるときは、次のように[]で示した。

- [よい意味で] ... 対象となる人・物に対して好感を持ってよい意味で用いる。
- [悪い意味で] ... 対象となる人・物に対して批判的で悪い意味で用いる。
- [軽べつの] ... 対象となる人・物に対して軽べつの気持ちをこめて用いる。
- [差別的] ... 特定の人種や女性などに関連して対象となる人・物に体して侮辱的で人の気を悪くさせる言い方。
- [皮肉に] ... 対象となる人・物に対して皮肉をこめて用いる。
- [こっけいに] ... 対象となる人・物に対して冗談半分にこっけいな意味合いで用いる。
- [おおげさに] ... もったいぶった表現で聞き手におおげさに響く。
- [遠回しに] ... 聞き手に不快感を与える内容をやわらげるために用いる間接的な言い方。
- [比喩的に] ... 語義が文字通りではなく比喩的・抽象的な意味あい用いられる場合。

7 類義語・反意語

7.1 その語と同じような意味の語は訳語の後に()で示したが、微妙な違いがある語はまとめて【類義語】として示した。反意語は(⊗)で示した。

8 用例・コロケーション・語法・参考・日英比較

8.1 語義の後をコロン(:)で区切り、その後に用例を示した。特に動詞の用例は重視し、できるだけ完全な形の文で掲げるように努めた。

8.2 見出し語・成句に相当する部分や、注意すべき部分をイタリック体で示し、他をローマン体で示した。特に重要な語や語義の場合、注目すべき部分や文型などを太字のイタリックにして注意を喚起した。

***fe·ver** /fi:və | -və/ 図 1 ㉔ または a ~) (病気の)熱, ... / Tom is in bed with a fever. トムは熱を出して寝ています...

***con·vic·tion** /kən'vɪkʃən/ 図 (～s /～z/) 1 ㉔ 確信, 信念; 自覚: We have a strong conviction that our constitution needs no change. <N+that 節> 我々は我々の憲法は変える必要がないと確信している...

make an attempt at ... [動] ㉔ ㉔ ...を企てる: The prisoners made an attempt at escaping. 囚人たちは脱走を企てた。

8.3 名詞については、それとよく結びつく動詞との連続に注目し、これをコロケーション(連語)として取り上げ、主要なものを見やすいように囲みで示した。用例と共に表現力を伸ばす一助とされたい。

— コロケーション —

have an <i>appointment</i>	約束[予約]がある
make an <i>appointment</i>	約束[予約]をする
break an <i>appointment</i>	約束をすっぽかす
keep an <i>appointment</i>	約束を守る
cancel an <i>appointment</i>	約束[予約]を取り消す

8.4 語義・用例などの注意すべきことからは「語法」で説明した。なお説明の長いものについては囲みにして目立つようにした。中でも重要なものに関しては、高名な言語学者 Dwight Bolinger (米国), 辞書学者 Robert F. Ilson (英国), 英語学者 John Algeo (米国) の3氏に校閲をしていただき、それぞれ《Bol.》《Ilson.》《Alg.》と示した。《解説図》

8.5 「参考」としてその語に関連する説明を加えた。

8.6 日本語と英語との意味や用法の違い、あるいは社会的・文化的な相違を「日英比較」で説明した。

9 動詞型 (《動詞型解説 (p. 2151)》), 形容詞型 (《形容詞型解説 (p. 2156)》), 名詞型 (《名詞型解説 (p. 2156)》)

9.1 五文型によって基本語の動詞の例文に動詞型を示した。ただし <V>, <V+O>, <V+副> の型は除いた (《動詞型解説 II 1 および II 3》)。目的語が名詞または代名詞のときは単に O とした。同じ動詞型の例文が続くときは初めの例文に動詞型を示し、後の例文の動詞型は省いた。また, die hard, cross oneself などのように慣用句になっているものは原則として成句とし、動詞型は示さなかった (《10》)。

9.2 特定の前置詞をとるものは in, on, to などをもそのまま <V+O+to+名・代> のように示した。<V+O+前+名・代> の「前」はいろいろな前置詞が用いられることを示す。

* **plunge** ... ㊸ 1 **D, S** 飛び込む... He *plunged into* the river. <V+into+名・代> 彼は川に飛び込んだ...

9.3 文の要素 (V, O, C) を明示しにくいときは、<V+前+名・代>, <V+to 不定詞> のように具体的な形だけを示した。

9.4 [主に受身で] ... などのように動詞型が一定しているときにはその動詞型は示さなかったが、その他の受身の場合は <V+O の受身> などと示した。

9.5 五文型で示せない動詞型については「語法」, [] を用いて示した (《本文 take 動 ㊸ 20 語法》)。

9.6 動詞型の説明に準じて、重要な形容詞には形容詞型 (《p. 2156》) を、また重要な名詞には名詞型 (《p. 2156》) を示した。

10 成 句

10.1 原則として各品詞の語義・用例のあとに太字の活字を用いてまとめて示した。配列は単語を単位とするアルファベット順で示した。

10.2 成句にはすべてアクセントをつけて「話す英語」の面も重視した。

10.3 品詞名の略号に準じて成句の機能を [名], [形], [副], [動] のようにできるだけ示した (《3.1》)。[動] はさらに ㊸ ㊹ の区別をした。

10.4 **one, one's, oneself** は主語に相当する代名詞が用いられることを表わす (《one² 代 3 語法 (4), one's 語法 (2), oneself 2 語法 (2)》)。..., ...'s では主語と異なる名詞・代名詞が用いられることを表わす。

make up one's mind [動] (1) **D** (いろいろ考えた末に) 決心する...: Liz has *made up her mind to be a nurse*. リズは看護婦になる決心をしている...

slip ...'s mind [動] ...に忘れられる, 思い出せない: Her name has *slipped my mind*. 彼女の名前は今ちょっと思い出せない。

take ... out of ...self [動] ㊸ (物事が<...>の気を紛(ふ)れさせる: Why don't you watch television? It would help to *take you out of yourself*. テレビでも見たらどう。気晴しになるから。

【語法】この場合 ...self は目的語をさす。

ただし ... はしばしば他の語 [句, 節] がそこに来ることをも示す。

and me [him, hér] ... [状況を示す語句を伴って] 私[彼, 彼女]が...であるのに: Bob wants to marry me, *and me* only sixteen! 私がまだ 16 だというのにボブは私と結婚したがっている。

11 句動詞 (㊦ 卷末文法 句動詞)

11.1 動詞の成句と共に太字の活字を用いてまとめて示した。配列は単語を単位とするアルファベット順で示した。数が多いものは「...の句動詞」として囲みで示した。

11.2 囲みにまとめた句動詞は見出し語に準ずる扱いとし、重要なものは星印をつけ、大活字で示した。

11.3 句動詞にはすべてアクセントをつけて「話す英語」の面も重視した。

11.4 見出し語とした句動詞の中で <他動詞+副> の型のうち、副詞の位置が目的語の前または後に固定しているものは動詞型を示した (㊦ p. 2155)。

11.5 受身が可能なものについてはその形を (受身 ...) として示したものもある。

12 派生語

12.1 派生関係を示す語は各品詞別の記述の最後にアクセントをつけて () で示した (㊦ 解説図)。

13 同音異義語

13.1 基本語の場合に限り、その語とつづり・意味が違うが同じ発音の見出し語を [同音] として最後に示した。

* **waist** /wéist/ ㊦ (waists /wéists/) ㊦ 1 ウエスト, 腰: Mary has a slender *waist*. メアリーはほっそりしたウエスト... ([同音] waste)

13.2 * は2つ以上の発音のしかたがあるとき、そのどちらかと同じ発音の語を表わす。また《米》は米国の発音と、《英》は英国の発音と同じ語を表わす。

* **oar** /ɔə | ɔ:/ ㊦ (～s /～z/) ㊦ 1 (船の)かい, ろ, オール...
([同音] o'er, ore, *or, 《英》awe)

14 語源・単語の記憶

14.1 基本語のうち語の成り立ちが理解の助けになると思われるものは、[語源] として訳語・用例などの後に示した。語義の展開の囲みで示した場合もある。

* **re-mote** /rimóut/ (reMÓTE) ㊦ (re-mot-er /-tə | -tə/, more ～; re-mot-est /-tíst/, most ～) 1 遠く離れた...

[語源] ラテン語で「遠くに移された」の意; remove と同語源 (㊦ motion [単語の記憶]).
* **jet**¹ /dʒét/ ㊦ (jets /dʒéts/) (JET)

ラテン語で「投げる」の意 → (噴き出す) → 「噴出」
2 → (噴射推進式の飛行機) → 「ジェット機」 1

14.2 単語記憶の一助とするため、同じ語源を持ついくつかの語をその語源をキーワードとして一か所に集め、どのように現在の意味を持つにいたったかを [単語の記憶] として囲みで示した。

[単語の記憶] <PORT> (運ぶ)	
export	(外へ運び出す) → 輸出(する)
import	(中へ運び入れる) → 輸入(する)
report	(運び戻す) → 報告する
sport	(仕事から人を遠ざける) → スポーツ
support	(下から運び上げる) → 支える
transport	(他の場所に運ぶ) → 輸送(する)
portable	持ち運びできる
porter	運ぶ人

15 他所参照

15.1 見出し語を参照すれば便利なときは、(㊦) を用いた (㊦ 19.2 の例)。

* **brake**¹ ... ㊦ (～s /～s/) ㊦ ブレーキ (㊦ bicycle 挿絵) ...

15.2 本辞典の姉妹編である『カレッジライトハウス和英辞典』にさらに参考になる説明が見られる場合は、「㊦『和英』...」として示した。

15.3 類義語については ㊦ 7.

15.4 反意語は (㊦) で示した (㊦ 7)。

16 表・挿絵, ...のいろいろ, 関連語

16.1 情報を1か所に集中させるため表・挿絵を採り入れた。写真も使用した。

16.2 例えば brake¹ では「brake のいろいろ」としていろいろな brake を1か所にまとめて枠で囲んだ(☞解説図)。

16.3 意味が関連し, 組にして覚えると便利な語を関連語として囲みで示し訳語を与えた。語義・用例の後に **関連語** として示した場合もある(☞解説図)。

17 文法用語

17.1 巻末に文法用語解説を設け, 本文中に(☞巻末文法)と示して本文と巻末の解説との相互参照の完璧をめざし, 辞書と文法書の合体をはかった。

18 地 図

18.1 この辞書で採録した米国・カナダ・英国・オーストラリア・ニュージーランドの地名については原則として見返しの地図を参照させてある。

* **San Fran-cis-co** /sænfrænsískou-/ 図 ④ 1 サンフランシスコ(米国 California 州中部の都市; ☞表地図 D4) ...

19 この辞書で使用している略号と記号の用法

19.1 略号

名 [名]	名詞	前 [前]	前置詞	最	最上級
固	固有名詞	感 [感]	感嘆詞	三単現	三人称単数
代 [代]	代名詞	接頭	接頭辞		現在形
動 [動]	動詞	接尾	接尾辞	過去	過去形
自	自動詞	略	略語	過分	過去分詞
他	他動詞			現分	現在分詞
助 [助]	助動詞	(米)	米国用法	動名	動名詞
形 [形]	形容詞	(英)	英国用法	複	複数形
副 [副]	副詞			単	単数形
接 [接]	接続詞	比	比較級	[複]	複数名詞

★動詞型・形容詞型・名詞型で示してある略号・略記については ☞動詞型・形容詞型・名詞型の解説 (p. 2151) I (2)。

[A] [P] については ☞5.7, [C] [U] については ☞5.8, [D] [S] については ☞5.9, 文体・用法上の指示については ☞6 と専門語表示一覧。(Bol.), (Ils.), (Alg.) については ☞8.4。

19.2 記号の特別な用法

() ... 省略(☞1.5, 2.7, 4.1, 5.6)。

(()) ... 用法上の指示(☞6.1, 6.2, 専門語表示一覧), 説明(☞6.3), 他所参照(☞15.1)。

[] ... 分野別専門語(☞専門語表示一覧, 6.3)。

/ / ... 発音(☞2.1)。

[] ... 言い換え(☞1.5, 5.6), 語法上・文法・文体上の指示・注意(☞5.5, 6.4)。

なお英文で2語以上の語が置きかわる場合に限り, どの部分から置きかわるかを「によって示した。

Oh, 'you can [can you]? (Oh, you can? または Oh, can you? の意)
face 'a **charge** [charges] (face a charge または face charges の意)

< > ... 他動詞の目的語の表示(☞5.10)。

< > ... 文型表示(☞9)。

《 》 ... 外来語の原語表示(☞2.13)。

~, ~ ... 見出し語と同じつづり, または発音を表わす(☞1.3, 2.6, 4.1, 5.5)。

— ... 見出し語の一部が変わるときの変わらない部分を表わす(☞5.5)。

☞ ... 反意語を表わす(☞7)。

- ← ... 派生関係を示すときに用いてある。
-i·za·tion /ɪzəɪʃən | aɪzəɪ-/ 接尾 [-ize で終わる動詞の名詞語尾] 「...にすること, ...化」
の意: *nationalization* 国有化 ← *nationalize* 国有化する。
- ← ... アクセントの移動を示す (《☞ 2.11》)。
- , ↓ ... 語義の変遷を示す (《☞ 14.1》)。
- # ... 2つ以上の発音のしかたがあるとき, そのどちらかと同じ発音の語 (《☞ 13.2》)。
- ★ ... 注意すべき説明。
- ☞ ... 「参照せよ」の意。下の例に見られるようにしばしば実際の記述が参照先にあることを示す。

(例 1)

as /弱形) əz; (強形) æz/ ...
—☞《関係代名詞》...
as for ... ☞ *as for* の項目。

このとき *asfor* というつづりの語を引く要領で p. 91 の右段下を見ると次の記述が見つかる。

***as for** /æzʃə, æs- | -fə/ 副 [文頭で] ...に関する限りは, ...について言えば:
We have lots of bread, ...

(例 2)

af·ter·noon /æftəˈnuːn | əːftə-/ ...
good afternóon ☞ *good afternoon* の項目。

これも同じく G のところで *goodafternoon* を引く要領で p. 746 の右段中ほどを見ると次の記述が見つかる。

good af·ter·noon /gʊdæftəˈnuːn | -aːftə-/ 感 こんにちは!; さようなら!
《午後に人と会ったときまたは別れるときのあいさつ...》

発音記号表

母音 (vowels)		子音 (consonants)	
記号	例	記号	例
/i:/	east /í:st/	/p/	pen /pén/
/i/	happy /hápi/	/b/	big /bíg/
	radio /réidiòu/	/t/	tea /tí:/
/ɪ/	ink /ɪŋk/	/d/	day /déi/
	pocket /pákɪt pók-/	★ /t/ /d/ については巻末の発音解説 9 の 3., 4. 注意を参照	
/e/	end /énd/		
/æ/	hand /háend/		
/æ ʌ:/	ask /æsk á:sk/	/k/	key /kí:/
/ɑ:/	father /fá:ðə -ðə/	/g/	get /gét/
/ɑ ɔ/	top /táp tóp/	/f/	face /féis/
/ɔ:/	all /ɔ:l/	/v/	very /véri/
/ɔ ɒ/	cloth /klɔ:θ klɒθ/	/θ/	three /θrí:/
/u:/	food /fú:d/	/ð/	this /ðís/
/u/	actual /æktʃuəl/	/s/	sun /sán/
/ʊ/	book /bók/	/z/	zoo /zú:/
	educate /édʒukèit/	/ʃ/	ship /ʃíp/
/ʌ/	come /kám/	/ʒ/	vision /víʒən/
/ə: ə:/	bird /bá:d bá:d/	/h/	hat /háet/
/ə/	around /əráund/	/ts/	cats /káets/
	China /tʃáinə/	/dz/	reads /rí:dz/
	chorus /kó:rəs/	/tr/	tree /trí:/
	lemon /lémən/	/dr/	dry /drái/
	element /éləmənt/	/tʃ/	cheap /tʃí:p/
	animal /ænəmə(ə)l/	/dʒ/	joy /dʒói/
/ə ə/	teacher /tí:tʃə -tʃə/	/m/	man /mæn/
/eɪ/	eight /éit/	/n/	night /náit/
/aɪ/	ice /áis/	/ŋ/	sing /sín/
/ɔɪ/	toy /tói/	/l/	leaf /lí:f/
/aʊ/	out /áut/	/r/	red /réd/
/oʊ/	go /góu/	/j/	yes /jés/
/ju:/	cute /kjú:t/	/w/	week /wí:k/
/ju/	manual /máenjua/	アクセント記号 / ' / 第一アクセント / ˈ / 第二アクセント examination /ɪgzæmənéɪʃən/	
/ju/	popular /pápjuə pópjuə/		
/ɪə ɪə/	ear /é é/		
/eə eə/	hair /héə héə/		
/aə ʌ:/	arm /áəm á:m/		
/ɔə ɔ:/	store /stɔə stó:/		
/ʊə ʊə/	tour /túə túə/		
/juə juə/	pure /pjúə pjúə/		
/aɪə aɪə/	fire /fáɪə fáɪə/		
/aʊə aʊə/	tower /táʊə táʊə/		

★ それぞれの発音記号については 2136 ページ以下の解説を参照。